



こもれびのいえ 通信

2025年2月1日発行
 NPO法人 こもれびの家
 八女郡広川町一條1065-7
 TEL 0942-53-5511

こもれびの家では、子ども達をちゃんづけせず名前で呼びます。大人は〇〇さん。呼びすてに初めは驚かれるかも知れませんが、それがとても身近で大切な家族のような存在に感じてくるのです。子ども達が互いを呼び合えば兄弟姉妹の様ですし、宅老所に行き〇〇さんおはよう！〇〇さん何してるの？と声をかけると「あらー来たね！」かわいかね、おいでおいで、ちょっとやかましかねと時には叱られたりもするけどおじいちゃんおばあちゃんはいつも大きな愛情で包み込み満面の笑みやタッチで返してくれます。こんなこもれびの家はまるで大家族のようです。その中でたくさん泣いて笑って走って行っても誰かが受け止めてくれる大きな家族みたいな場所です。いつでもあり続けたいです。

保育士 高本 操

日本の今の敷物はほぼ、科学的なもの、火事になると化学物質が燃え広がりがりその化学物質の煙を吸った方の死亡が連日、報道されることに痛みを感じています。畳の原料になる草は最近日本でも収穫が少なくなり、中々手に入らなくなっているようです。話によるとこの草は燃えにくい、身体にも良い影響をあたえる、と聞くと、数十年たみが必要なところら使用してきたのは良かったと自負しているところ

管理者 毛利 赫子

厳寒の二月を迎え、増築と、お披露目式も終え「ホッと」しているこもれびの家の皆です。
 こもれびの家では、子供たちの休むところは畳の上に布団を敷いて昼寝、デイサービスの休む休憩室は畳の部屋、今度新しいところは木のベッド(昼は椅子)に畳を敷いてその上に高反発クッション(通気性に優れ、身体とマットが密着することが少ない)、骨が当たる部分の圧力を分散し、受け止めるよう工夫されているので、腰を痛めている方は、床ずれ防止マットで快眠を助けてくれるので、こもれびの家では二〇年前から使用し、喜ばれている。

デイサービスのようすです



2月2日節分にむけて皆さんと鬼の面づくり。色々な鬼の出来上がり。



増築部屋
 デイルームからのながめ待ち遠しい。



ヤギもなついています。



たたみの上に高反発マット。
 カバーをしてベッドの出来上がり。

●2月の誕生日

1日 野田 房子さん 26日 中村 明さん

託児と学童のようすです



一条公園 今年もお世話になります



お庭でおやつタイム



新年のご挨拶

☆託児の子どもたちの様子☆

- 久保じょうたろう・・・ルールを説明するとしっかり守ろうと返事もハイ！と元気に返ってきます（笑）
- 富松なおき・・・夢中で遊び笑い声で呼んでる声もきこえないほど…。目が合うとアレレ
- 久保はるの・・・かるたよんでー！と絵本や文字にも興味がふくらんでいます。
- 鍋田ちず・・・体がやわらかーい！！こんなの出来るよ！と教えてくれるけど…折れちゃう。
- 古賀いつき・・・畑へ行くと土山に一きに駆け登り頂上いちばん！とばかりに手を振ってます。
- 枝村いちか・・・名前を呼ばれると「何なに？」と笑顔でかけ寄る姿にみんなほっこりです。
- 大淵あさひ・・・何でも自分で出来る事が楽しくてどんどん自信が大きな声になってきこえてきます。
- 鐘本かずと・・・体を思うままに使える身のこなし。届かないな…と思えば椅子や台も運んできます。
- 西原りっか・・・着替えもどんどん1人でします。あわててあれ？パンツの忘れ物？
- 山中りょう・・・僕がしてやろうか？と困っている子に声をかけて優しく手助けありがとう。



これよんでー！！絵本大好き



雪がふったよ



こおりになつたよ



きんかん 取り放題！



けんけんぱー 上手だよ



誕生日
おめでとう



●2月のうた



うぐいす



コンコンクシャンのうた

●2月の誕生日

8日 富松なおき 5歳